

★重要

国保料は**毎月13日**が引き落としです
(土・日・祭日の場合は次の日です)

事前に**口座の確認**をお願い致します

どけん加須

発行所
埼玉土建一般労働組合
加須支部
〒 347-0017
埼玉県加須市南篠崎2-2-5
TEL: 0480-65-7114
FAX: 0480-65-6569

発行人: 教育宣伝部長 渡邊多喜子

支部拡大目標60人

現在 **30**人

拡大月間もあと少し
みんなの力で達成しよう



中谷青年部長の力強い掛け声で

節目標50%を達成

新たな仲間18人が加入

9月26日(金)、秋の拡大月間・中間決起集会を支部事務所にて開催し、42人の仲間が参加しました。集会では、拡大運動の中間目標である50パーセントの達成が報告されるとともに、参加者同士の交流を図る一品料理対決が行われ、会場は熱気に包まれました。

中間決起集会

午後7時30分から開かれた中間決起集会で水野支部長は「忙しい中、こんなにたくさん仲間が集まってくれて感謝している。月末になりやっと涼しくなってきたが、まだまだ暑い日もある。無理はせず楽しんで行動してもらいたい」と日頃の活動への感謝と後半戦への決意が述べられました。

あいさつの後、今回の企画である一品料理対決が実施されました。各分会から持ち寄られた自慢の一品がテーブルに並べられ、参加者は味比べを楽しみながら、持ち票3票で投票を行いました。激戦の結果、加須北分会「もつ煮込み」が見事優勝。2位は花崎分会「唐揚げ」、3位は志多見分会「かんぴょう巻」となり、会場は大きな歓声に包まれました。

料理対決と交流で宴会が盛り上がりを見せる中、拡大運動の成果

各分会代表から拡大月間後半戦に向けて一言



大桑分会 高橋さん

今年には本当に暑くて大変だったが、10月最後の日までやり切る。



久下分会 水野さん

若い組合員に訪問はしているが、時間が合わないことが多い、なんとか時間を合わせ拡大につなげたい。



花崎分会 小林さん

60%は越えることができました。後半戦で達成できるように頑張りたい。



志多見分会 小熊さん

これまで会ったび分会の仲間と拡大頑張ろうと話してきた。後半戦も加入者が出るようにしていきたい。



加須北分会 渡邊さん

3人拡大出来てびっくりしている。最後まで力を合わせて頑張りたい。



水深分会 近藤さん

対象者も今回出てきている、若い世代の組合員さんに再度訪問したい。



騎西分会 本木さん

対象者がいなくなってきた。分会、書記の皆さんと連携して拡大と立ち向かっていきたい。



大利根分会 田中さん

行動はしているがなかなか対象者が出て来ない。苦戦しているが残り一ヶ月頑張りたい。



北川辺分会 大家さん

北川辺分会はトップスタートしてきたが、今は横並びになってきている。このまま全員で一緒にゴールを目指していきたい。

を報告する加入書奉納式が行われました。奉納式では組合加入18枚の成果が報告され、6分会が50%を達成。また拡大月間支部節目である50パーセントを達成しました。

続いて、各分会代表者が力強い決意表明を

行い、今後の拡大への意気込みを新たにしました。

最後に村上組織部長が「節目標である50%を達成できて本当に良かった。支部全体で60人達成できるようにみんな協力して後半戦も頑張ってください」と

と目標達成への継続的な努力を呼びかけました。

最後は、中谷青年部長の力強い掛け声による「団結ガンパロー」で締めくくられ、参加者は拡大月間の完全達成に向けて固い決意を胸に閉会しました。

2月のほり

拡大月間の目標を決める際大事なポイントを指摘したいと思えます。それは「公平」と「納得」です。第一に「公平」です。なぜこの目標なのかを、科学的根拠をもって示す必要があります。根拠なき目標は、単なる精神論を押し付ける「観念論」に他ならず、誰もが不満を抱き、力を発揮できません。第二に「納得」です。一人ひとりが目標の意味を深く理解し、「自分たちの目標だ」と主体的に捉えることです。十分な議論を通じて生まれた納得感、組織全体の「一致団結」の原動力となります。納得できないままでは、やらされ感が募り、心は一つになりません。それでは本当の力は生まれず、やはり空虚な「観念論」に陥ってしまいます。埼玉土建は、現実を科学的に分析し、全員の納得のもとで団結する「唯物論」の立場でこそ、困難な情勢を切り開き社会変革を勝ち取ってきました。この誇るべき組織原則を今こそ堅持し、組合員全員で拡大月間を成功させましょう。

記 酒巻

日程表

日	曜	10月
20	月	支部納入
21	火	☆共済部会 ☆次世代 加須労連幹事会
22	水	☆組織検討会議
23	木	拡大行動日
24	金	拡大行動日
25	土	碧蓮祭
26	日	↓
27	月	☆教宣
28	火	青年部地域別実行委員会 全建総連大会
29	水	拡大行動日
30	木	打ち上げ式
31	金	☆埼玉労連キャラバン加須学習会
日	曜	11月
3	月	11・3憲法集会
4	火	☆四役会議
5	水	☆常任執行委員会
6	木	☆主婦四役
7	金	☆執行委員会
10	月	9の日
13	木	産対活動者会議 埼玉労連キャラバン加須 ☆主婦役員会
14	金	12区会合 シンポジウム大会 ☆久下班会議
16	日	全県青年・次世代学習会
17	月	↓
18	火	主婦の会講座 ☆次世代学習会

*情勢や運動・活動により日程の変更がある場合があります。ご了承ください。



大きな時計台の階段で記念撮影

より多くの仲間に

次世代
バスハイク

温かい関係性を築いていきたい

9月14日、組合員とその家族の親睦を深める日帰りバスハイクを催し、栃木県那須町の「りんどう湖ファミリィ牧場」などを訪れました。大人17人、子供10人の計27人が参加し、秋晴れの下で楽しい1日を過ごしました。

この行事は、組合員同士の交流はもちろん、普段なかなか行事に参加できない仲間やその家族に、組合の活動や雰囲気を知ってもらおうきっかけになればとの思いで企画されました。当日は朝早くに加須支部事務所集合し、バスで出発。行楽シーズンのため高速道路やりんどう湖周辺で渋滞に巻き込まれ、到着が少し遅れるハプニングもあったが、参加者の

表情は期待に満ちていました。

りんどう湖ファミリィ牧場では、子どもたちが多彩な乗り物に歓声を上げ、動物たちと気軽に触れ合える広場で満面の笑みを見せました。昼食は、やや汗ばむほどの陽気の中、参加者全員で湖畔の景色を楽しみながらバーベキューに舌鼓を打ちました。

参加した役員からは「今回、初めて参加してくれた新しい顔ぶれもあり、交流の輪が広がったことが何より嬉しい。渋滞はありましたが、1日を通して誰もケガをすることなく無事に帰ってこられて本当に良かったです」と胸をなでおろしました。

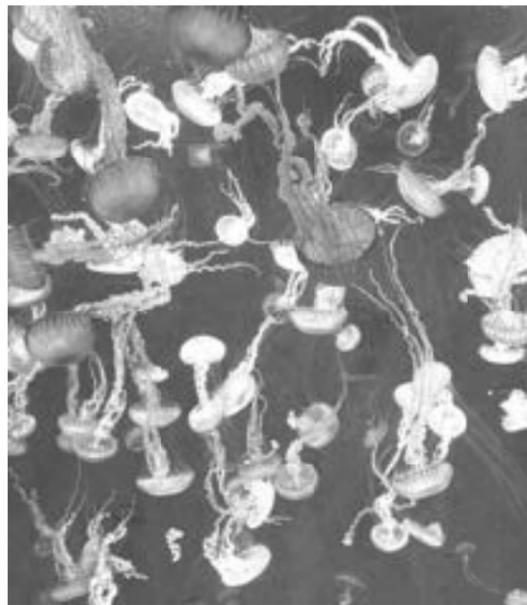
今回のバスハイクを弾みに、今後さらに家族ぐるみの付き合いができるような温かい関係性を築いていきたいと考えています。近藤次世代部長は、「より多くの仲間に参加してもらい、将来的には参加人数を増やして、みんなでディスプレイゾーに行き、埼玉土建ならではの最高の思い出ができるような行事をしていきたい」と今後の展望を力強く語りました。

心に残る1日に

騎西分会バスハイク

分会の結束を一層強める

騎西分会で親睦を深めるバスハイクが9月28日、秋晴れのもと開催され、26人が参加し



幻想的なクラゲの展示

ました。当日は、ふじアリーナに集合し大型バスで出発。午前中は新江ノ島水族館を訪れ、海の生き物たちとの触れ合いを楽しみました。イルカショーでは、そのダイナミックなパフォーマンスに大きな歓声が上がりました。また、ネコザメに直接触れることができるタッチプールでは「貴重な体験ができた」との声が聞かれました。幻想的なクラゲの展示も人気を集め、「たくさんの種類が楽しめた」といった感想が多く寄せられました。分会の結束を一層強める有意義な1日となりました。

参加者の1人は「散策時間が十分にあり、江島神社まで足を延ばせてよかった」と笑顔で話しました。今回の行事について参加者からは「天候に恵まれ、仲間と楽しく過ごすことができました」「心に残る1日になった」といった感想が多く寄せられました。分会の結束を一層強める有意義な1日となりました。

仲間との交流の場

久下分会バスハイク

自然や歴史的建造物に触れ

久下分会は9月28日（日）、交流を目的とした恒例のバスハイクを実施し、参加者17人が秋の1日を楽しみました。栃木県の日光方面を訪れ、雄大な自然や歴史的建造物に触れ



美しい湖畔の景観を満喫

ながら、親睦を深めました。最初の目的地である中禅寺湖では遊覧船に乗船しました。当日はあいにくの曇り空で、参加者からは「湖上は少し肌寒かった」との

声も聞かれたが、静かで美しい湖畔の景観を満喫しました。続いて大谷石の採掘場跡である大谷資料館を訪問。地下に広がる巨大な空間と、無数の手掘りの跡が残る壁面

水野分会長は「仲間との交流の場になればという思いで毎年行っている。今回は日程の都合で参加人数は例年より少なかったが、工程は予定通りに進み、和やかな雰囲気の中で楽しく1日を過ごすことができました。今後も多くの仲間が交流できる機会を増やしていきたい」と語りました。